

さいたま市民医療センターにて皮膚科で加療中の方へ

当院では、皮膚科において、看護師（フットケア指導士）、理学療法士、義肢装具士、靴業者と協働して、フットケア外来を開設しています。足部等に様々な要因で病変が発生した場合、薬物療法、セルフケアの指導のみならず、履物の選択が早期治癒や悪化、再発予防に寄与します。よりの確で効果的な診療を提供する目的として、足部等に病変を有する患者様の足の状態と履物に関する調査を行い、よりよい履物の選択するための研究を行っております。

【研究課題】

足病変を有する患者の足の形態と履物に関する調査

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関	さいたま市民医療センター	診療技術部リハビリテーション科
	同	皮膚科
研究責任者	平井 勝（診療技術部リハビリテーション科・理学療法士）	
担当業務	データ収集・匿名化・データ解析	

【共同研究機関】

なし

【研究期間】

申請が許可されてから 2022年3月までを予定とするが、期間が延長する場合があります。

【対象となる方】

2018年4月1日～2022年3月31日の間に当院皮膚科で、ア．皮膚科疾患（足潰瘍、鶏眼・胼胝、足白癬・爪白癬、静脈うっ滞に伴う皮膚病変）、イ．足の変形を伴う疾患（外反母趾・内反小趾、開帳足、変形性関節症、外傷）、ウ．内科的疾患（糖尿病性足病変、関節リウマチ、末梢神経障害、閉塞性動脈硬化症）で診療を受けた患者さんが対象になります。

【研究の目的】

健常者であっても、足は加齢と共に形態的变化を起こすため、それに応じて靴も履き替える必要があると言われてしています。特に、足に何等かの病変や神経障害などを有する患者様では、その病変に応じて履物を選択することが重要で、それにより足病変の早期治癒や悪化を予防することが可能になります。そこで、足部のサイズ測定を始めとする足病変の評価、着用している靴、その着脱方法について調査させていただき、苦痛のない快適な日常生活をより長く営んでいただくことを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これ

までの診療でカルテに記録されている足のサイズ、靴の情報、下肢機能検査、下肢と靴の画像、歩行能力、血液検査、生理機能検査、レントゲンやCT、MRI画像などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにしたうえで、当院診療技術部リハビリテーション科において平井勝（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみが使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管し、かつそのパソコンは鍵のかかるロッカー棚において厳重に保管します。そのため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2022年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式にて学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

○あなたへの謝金はございません。

2020年11月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 診療技術部リハビリテーション科 平井 勝
住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1
電話：048-626-0011